

「チャレンジ！！」の進行状況について

「チャレンジ！！」の位置づけ：総合計画後期基本計画の計画期間の5年間のみならず、長期的な視点から各施策が目指すべき方向を示すもの。
 いずれも「目標」よりハードルを上げ、相当程度努力をしないと達成が難しい項目を掲げている。
 （各施策に対し、概ね1つ設定。合計「チャレンジ！！」数：46）

【「第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ！！」の進行状況(まとめ)」の見方】

見本

※ 事務局による類型
 ■: A 「チャレンジ!!」達成済
 ■: B 具体的取り組みを実施中
 □: C 未着手(取り組みを検討中)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成26年度の取り組み		② 今後の方針
			類型 ※	① 取り組み状況	
111	文化・芸術	文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	文化施設の館長等の会議を開催し、連携した取り組みの検討を行った。情報交換を行い各施設の企画等に生かすとともに、平成26年度に文化施設スタンプラリーを試行することを決定した。	平成26年度に文化施設スタンプラリーを試行する。文化施設の館長等の会議を継続し、各施設が連携した新たな取り組みを検討する。
112	地域間交流・国際交流	交流人口創出プログラムの実施により、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	移住等希望者への様々な情報発信により、移住交流の促進を図った。また、友好都市等との交流事業では、首長、議長はもとより、民間レベルでの各種交流事業を促進した。	空き家バンクの充実により、移住等希望者の受け入れを図る。また、友好都市等との各種交流事業の推進により、交流人口の増大を図る。
113	人権尊重社会	すべての市民がお互いを尊重し、思いやる差別事象0（ゼロ）のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・差別事象ゼロを目指し、人権意識の醸成と意識改革を図るため、小学生を対象にした「人権の花運動」や広く市民を対象として、「巡回指導事業」「人権同和教育講座」等各種学習会を開催した。 ・隣保館（人権文化センター）では、生活文化の向上と意識の高揚、住民福祉の向上を目指し及び各種教室を開催し交流を図ったことにより相談体制の充実・強化を図った。	・今後も、差別やいじめ、虐待等による人権侵害をなくするため、各種事業を推進し、人権意識の醸成と意識改革を図っていく。 隣保館（人権文化センター）では、各種事業において啓

注：記載内容は昨年度のもので記載されています。

① 取り組み状況

後期基本計画「チャレンジ!!」の取り組み状況について記載。

② 今後の見通し

後期基本計画「チャレンジ!!」の今後の見通しについて記載。

【審議の視点】

「チャレンジ！！」の取り組み状況について

- ・なぜ未着手か
- ・何をすればより順調に進むか
- ・取り組み状況は妥当か
- ・今後の見通しは妥当か
- ・今後の取り組みに対する提言 など